

家庭教育学級新聞

第38号 R3.2.3

発行 山武市教育委員会
生涯学習課

昨年は、コロナ禍の中で各園・学校の家庭教育学級もほとんどが中止になってしまいました。その中でも、行えたものを紹介します。

今年は、新型コロナウイルス感染症が収束し、例年通りに、学級も行えるようにと願っています。

令和2年度山武市家庭教育講演会 「我が子との関わり方、親子関係の分岐点」 講師：箕浦健治 氏



去る令和2年12月1日(火)、成東文化会館のぎくプラザホールにて、家庭教育講演会が開催されました。講師の箕浦先生は、花まる学習会で野外体験部長として多くの子ども達をキャンプに連れて行き、その中で様々なことを体験させながら子どもの成長を見守ってきました。その豊富な経験からのお話の中で力説されていたことは、4歳～9歳の時期は大事だということです。

親が、我が子にどう関わるか、年齢によってかける言葉が違うのだそうです。お話の中から、子育てに関わるたくさんのヒントをいただきました。

参加された方の感想

- これからの子どもとの関わりを変えてみようと思いました。
- 話がわかりやすく面白かったです。
- 90分があっという間でした。豊富な経験からのお話には説得力がありました。
- 子育てのよいヒントが得られました。
- 話の内容が素晴らしく、笑いありで心に残るお話でした。
- 子どもと向き合うアドバイスがたくさんありました。
- もっともっと話をききたかったです。

-家庭教育学級から-

進沼中:12月22日(火)

試食会と食育講座

講師：橋本春菜 氏



普段、生徒が食べている給食を保護者の皆さんでいただきました。この日は、2学期最後の給食でメニューは、コーンピラフ・クリスピーチキン・ブロッコリーサラダ・野菜スープ・ミニケーキ・牛乳でした。美味しくいただきました。

感染症予防のため、検温・健康観察・手指の消毒はもちろんのこと、食事の際には、皆さん無言でいただいていたいました。保健委員長と給食委員長の発表もありより充実した時間となりました。

食後は、橋本先生が、給食ができるまでの工程と中学生の食事について丁寧に説明してくださいました。育ち盛りの中学生の食事ということで保護者の皆さんから、質問がたくさん出ました。



CAP 講演会



ENJOY CAP
寺田さん、滝川さん
於：なんごうこども園

今年度は、コロナ禍のため、中止になってしまった講演会もありました。CAPはこどもの人権教育です。自分は大切な存在であることに気づかせ、自己肯定感を上げるプログラムです。

来年度は、多くの子ども達に届けたいと思います。



我が家の子育て

蓮沼中学校 教頭 平井綾子

我が家には、三人の子供がおり、夫と二人共働きの家庭で子育てをしてきました。自慢できるような育児はしていませんが「育児は育自」子育てを通して自分が成長させられたことも多くあります。この18年を一度振り返ってみたいと思います。

○長女の場合

1歳で保育園に入園し、排せつや食事などをほぼ身に付けてもらいました。小学校低学年まで、言葉の発音が不明瞭だったため言葉の教室に通うこともありましたが、学校では活発に過ごしていたようです。



中学生になり思春期を迎えると、「反抗期」がやってきました。家の中では、常に機嫌が悪く態度も悪いため、社会でやっていけるのかと心配になるほどでしたが、学校では友達も多く、明るく過ごしていました。今まで、大人の言うことを素直に聞くことが多かった長女ですが、自分のやりたいことをしっかり表現するようになりました。それに伴い、私自身も子どもに対してこれまであれこれ口出ししすぎていたことを反省し、「見守る」余裕を持つことを心掛けました。子供が自分で考え判断する力を大切に、必要な時にだけ手助けするようにしました。

現在は高校3年生で、進路選択の只中にいます。心配なことも多くありますが、自分の人生を進んでいけるように、ハラハラしながらも見守り続けています。

○次女の場合

もともとかなり人見知りで、経験がないことや苦手なことへの不安を強く感じる子でしたが、中学生になると、体調を崩して登校できない日が増えてきました。環境の変化、思春期の体の変化、私の仕事がかつてよりも忙しくな



ったことなど、いろいろなことが重なり、心のバランスがうまく取れなくなっていったようです。はじめは、何とか登校させようと私も焦りましたが、焦るほど次女の不調がひどくなっていきました。担任や適応指導教室の先生にご協力いただき、自分から登校しようとする力が復活するまで、待つようにしました。経験を重ねて、自分で大丈夫だとわかると、受け入れられたり、一度自分で決めたことは必ずやるという一面もあるため、不安になりそうな時には、丁寧に説明をしたり、慣れるまで寄り添ったりするようにしていました。

中学三年になり、ほぼ毎日登校しています。まだ、時々不安になるともあるようですが、先生方にもご理解いただき、本人が自分の力で少しでも進めるように支援をしていただいています。現在は、将来の夢の実現のために自分で進路を決定し、目標を目指して頑張っています。

○長男の場合

健康面での不安があり、通院を繰り返す子育てでした。現在は落ち着き、健康に過ごしていますが、末っ子で初めての男の子のため、つい甘やかしてしまいます。優しい子なのですが、裏表がないので、どこでも正直に自分の気持ちを出してしまいます。学校ではよく頑固になり、先生を困らせていました。周りの友達に恵まれ、学校の先生も根気よく息子に関わってくださったため、できることを少しずつ増やしてもらいました。



現在中学一年生、まだ幼い部分も多くありますが、本人なりに中学生らしくなろうと一生懸命頑張っています。

個性の違う三人それぞれに合わせてかかわりを工夫してきました。保育園や学校の先生方、実家の両親、職場の先輩方など、困った時には多くの方に支えていただきました。夫と二人だけでは到底こなせなかったと思います。仕事との両立に悩むこともありましたが、子供の成長する姿は何よりも自分の励みになります。感謝の気持ちを持ちながらこれからも子供の成長を見守っていきます。

